

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時： 令和元年 9 月 19 日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟 4 階）

発表事項

1. 研究紹介：気候変動による砂浜侵食に関する適応策の費用便益分析
2. 学生たちが小野川温泉の足湯改装プランを提案します
～ 温泉街を感じる・味わう・交わる場所に ～
3. 学生の活動紹介：食品と工学の融合で世界で認められるグミを作りたい！
～ 学生ベンチャーTryca GOの挑戦 ～
4. 職員がラグビー成年男子県代表として三度目の国体出場

お知らせ

1. 令和 2 年度山形大学「推薦入試学生募集要項」「私費外国人留学生入試募集要項」「社会人入試学生募集要項」について
2. 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞～「じゅんかん育ち」を学校へ
3. チェリスト・指揮者の鈴木秀美氏による公開講座を行います
～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～
4. 農場フェスティバルを開催します ～あなたもわたしもShall we ライス？～
5. 2019火山防災フォーラムの開催について ～火山を知り、火山とともに生きる～
6. やまがた夜話の開催について
7. 次期学長候補者決定に関する記者会見を開催します

（参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和元年 10 月 3 日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟 4 階）

学長定例記者会見（9月19日）発表者

1. 研究紹介：気候変動による砂浜侵食に関する適応策の費用便益分析

学術研究院 准教授（財政学）

さかもと なおき
坂本 直樹

2. 学生たちが小野川温泉の足湯改装プランを提案します

～ 温泉街を感じる・味わう・交わる場所に ～

学術研究院 助教（工学部担当）

たかさわ ゆみ
高澤 由美

3. 学生の活動紹介：食品と工学の融合で世界で認められるグミを作りたい！

～ 学生ベンチャーTryca GO の挑戦 ～

大学院有機材料システム研究科 博士前期課程1年

あびこ まりん
安孫子 眞鈴

4. 職員がラグビー成年男子県代表として三度目の国体出場

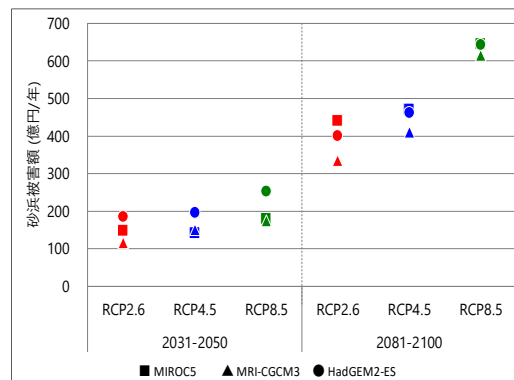
総務部総務課主任

くりはら としふみ
栗原 利文

気候変動による砂浜侵食に関する適応策の費用便益分析

【本件のポイント】

- 坂本直樹准教授（財政学）らが進めている、気候変動による砂浜侵食の経済評価に関する研究の紹介。
- 砂浜でのレクリエーションに限った場合でも、気候変動による砂浜侵食の被害額は2031年から2050年において年平均147億円から179億円、2081年から2100年において年平均440億円から644億円と試算された（気候モデルはMIROC5）。
- 山形県については、同被害額が2031年から2050年において年平均1.42億円から1.68億円、2081年から2100年において年平均3.54億円から5.81億円と試算され（気候モデルはMIROC5）、どちらも東北地方で最も被害額が大きい。



【概要】

気候変動による影響として海面上昇による砂浜侵食が懸念されています。しかし、砂浜侵食の被害額や、それを軽減する適応策の経済評価を行った研究は未だ十分ではありません。そこで、山形大学の坂本直樹 准教授（財政学）は、兵庫県立大学の中嶋一憲 准教授らとの共同研究により、砂浜侵食による全国および都道府県別の被害額を計測しました。具体的には、応用一般均衡モデルと呼ばれる経済モデルに、砂浜侵食によるレクリエーション需要の変化を捉えることができるモジュールを組み込み、砂浜侵食の将来予測データを用いて経済評価を行いました。その結果、気温上昇が大きくなるほど、砂浜侵食の被害額が大きくなり、沖縄県、神奈川県、新潟県、兵庫県の4県で全国の被害額のうちの約40%から45%を占めることがわかりました。東北地方では山形県が最も被害額が大きいです。さらに、気候モデルやシナリオによらず、砂浜侵食を回復させる養浜の便益が費用を上回る地域は神奈川県、大阪府、佐賀県、熊本県の4府県であることがわかりました。

【背景】

気候変動が自然環境、社会経済、人体等、様々な側面に影響を及ぼすことは、多くの研究成果によって既に知られており、その影響の一つとして、海面上昇による砂浜侵食が挙げられます。気候変動によってどれだけ砂浜が侵食されるかを物理的に評価した研究は数多くありますが、それを経済的に評価した研究は未だ多くありません。また、気候変動による悪影響を軽減する政策のことを適応策といいます。適応策としては養浜が考えられます。養浜は侵食された砂浜を回復させる公共事業ですが、これを経済的に評価することも必要です。

【研究手法・研究成果】

そこで、気候変動による砂浜侵食の日本全国および都道府県別の被害額を計測しました。具体的には、応用一般均衡モデルと呼ばれる経済モデルに、砂浜侵食によるレクリエーション需要（海水浴など）の変化を捉えることができるモジュール（レクリエーション需要関数）を組み込み、砂浜侵食の将来予測データを用いてシミュレーションを行いました。さらに、この結果をもとにして、養浜の費用便益分析を行いました。ここで、養浜事業の費用に関しては、実際に養浜が行われた33都道府県92事業のデータを収集し、砂浜の単位面積あたりの事業費の平均（21,596円/m²）を求め、これに砂浜の面積を乗じることにより計算しました。

下図はMIROC5と呼ばれる気候モデルに基づき、年代別・RCPシナリオ別に各都道府県の砂浜侵食による被害額を計算したものです。ここで、RCPシナリオとは、将来、温室効果ガスが安定レベルに至る経路のうち代表的なもので、RCP2.6、RCP4.5、RCP8.5の順で気温上昇が大きくなると考えられます。いずれの期間およびRCPシナリオにおいても、沖縄県、神奈川県、新潟県、兵庫県の4県で全国の被害額のうちの約40%から45%を占めま

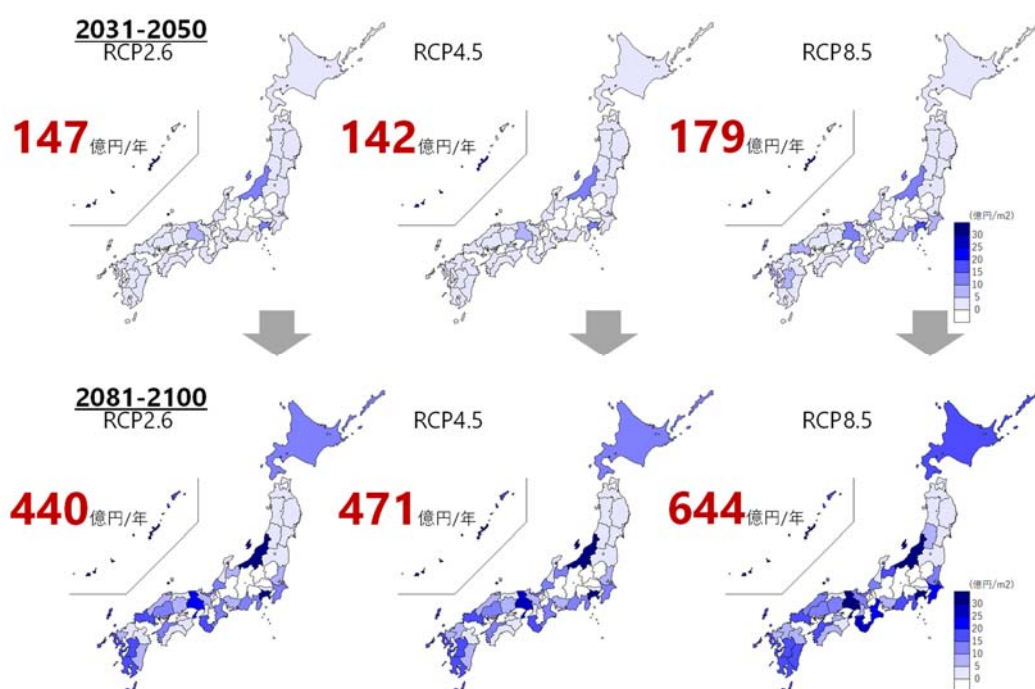
す。さらに、2031 年から 2050 年および 2081 年から 2100 年のどちらの期間でも、気温上昇が大きくなるほど、砂浜侵食の被害額は大きくなることがわかります。これをもとに養浜の費用便益分析を行うと、2031 年から 2050 年において便益が費用を上回る都道府県はいずれの RCP シナリオでも神奈川県、大阪府、佐賀県、熊本県の 4 府県です。一方、2081 年から 2100 年において便益が費用を上回る都道府県は、RCP2.6 と RCP4.5 では神奈川県、大阪府、兵庫県、広島県、佐賀県、熊本県の 6 府県、RCP8.5 ではこれらに富山県と岡山県が加わり 8 府県となります。このように、気温上昇が大きくなるほど、適応策が効果的となる都道府県が増えることがわかります。特に、瀬戸内海に面する府県（大阪府、兵庫県、岡山県、広島県）では養浜事業としての適応策は効果的です。

山形県における砂浜侵食の被害額は、2031 年から 2050 年において年平均 1.42 億円から 1.68 億円、2081 年から 2100 年において年平均 3.54 億円から 5.81 億円で、どちらも東北地方で最も大きいという結果になりました。

【今後の展望】

平成 11 年に改正された海岸法では第一条（目的）において、「この法律は、津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り、もつて国土の保全に資することを目的とする。」とされ、防護・利用・環境の観点から総合的に海岸を管理することになり、砂浜の重要性が高まっています。これに即して言えば、この研究では、砂浜の「利用」の観点から、砂浜のレクリエーション需要に着目し、砂浜の保全や修復を目的とした適応策の経済評価を行ったことになります。

一方、国土交通省で開かれた「津波防災地域づくりと砂浜保全のあり方に関する懇談会」が示すように、砂浜保全の効果は「利用」の観点以外に「防護」や「環境」の観点においても重要です。例えば、防護の観点から、南海トラフ地震や温暖化による海面上昇が懸念される中、砂浜保全による浸水防止効果（津波、高潮の被害軽減効果など）や侵食防止効果（土地、資産等、重要文化財等の保全効果や交通遮断防止効果など）の重要性は高いと考えられます。また、環境の観点から、自然景観や生態系の保全などによる効果や、砂浜そのものの存在価値も重要であると考えられます。しかしながら、これらの砂浜保全効果の多くは十分な定量的評価がなされているとは言い難く、それゆえ砂浜のレクリエーション利用以外の防護・利用・環境の観点に着目した定量評価が急務であると考えられます。



年代別・RCP シナリオ別の都道府県の砂浜侵食被害（億円/年）

※本研究は、兵庫県立大学 中畠一憲 准教授を代表とし、名城大学 大野栄治 教授、森杉雅史 教授、森龍太 助手と行った共同研究であり、文部科学省気候変動適応技術社会実装プログラム（研究課題：気候変動の影響評価技術の開発、代表者：脇岡靖明）の助成を得ています。

お問い合わせ

学術研究院准教授（財政学） 坂本 直樹（さかもと なおき）

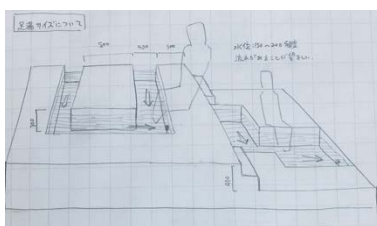
TEL 023-628-4255 メール nsakamoto@human.kj.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）9月19日

学生たちが小野川温泉の足湯改装プランを提案します ～温泉街を感じる・味わう・交わる場所に～

【本件のポイント】

- 工学部建築・デザイン学科3年生の6名が小野川温泉の足湯「片葉の葦」の改装プランを提案します。
- 都市・地域計画演習の一環で地域の課題を建築・デザインの手法を用いて解決することを目的に提案するものです。



【概要】

工学部の建築・デザイン学科の3年生が小野川温泉の足湯「片葉の葦」の改装プランを提案します。都市・地域学演習の授業の一環として取り組んでいるもので、地域の課題を建築・デザインの手法を用いて解決することが目的です。

小野川温泉の足湯「片葉の葦」は、温泉街のメインストリートにあり、景観や交流といった面からも重要な空間です。今回は小野川温泉の皆さんのご協力を得て、整備されてから時間が経ち老朽化が進んだ足湯の改装プランを提案することとなりました。学生たちは、2つのグループに分かれ、8月上旬に行った現地視察や関係者からの聞き取りなどをもとに、ディスカッションやエスキスを行い、設計・模型づくりに挑戦しています。9月24日には、小野川温泉旅館組合事務所において、地域の方々にプレゼンテーションを行うこととしており、改装の実現に向けて意見交換を行います。

【プレゼンテーションについて】

日時：2019年9月24日 13:30-

場所：小野川温泉旅館組合事務所（山形県米沢市小野川町 2501-1）

- 学生が、グループで製作した模型を紹介しながら足湯改装のプランをプレゼンテーションします
- 地域の方々にもご参加いただきながら、改装の実現に向けた意見交換を進めます

お問い合わせ

学術研究院教授／工学部建築・デザイン学科担当 佐藤慎也

TEL 023-628-4377 メール ssato@e.yamagata-u.ac.jp

学術研究院助教／工学部建築・デザイン学科担当 高澤由美

TEL 0238-26-3718 メール takasawa@yz.yamagata-u.ac.jp

食品と工学の融合で世界で認められるグミを作りたい！

～学生ベンチャーTryca GOの挑戦～

【本件のポイント】

- 大学院の学生たちが、研究を活かして新しい食品（グミ）の開発に挑戦
- 山形大学に蓄積された食品加工技術をもとに、硬さを自由自在に変更できるグミを開発する。
- グミを噛むことによって咀嚼力を鍛え、皆さんを健康へと導きます。



【概要】

山形大学大学院の有機材料システム研究科の安孫子眞鈴さんは、小麦食品を米粉で代替するための研究を行っています。この研究では、プラスチックの成形加工という新たな観点から食品の開発を行っており、中でも小麦アレルギーを持つ人も持たない人も安心して食べることができる食品の開発を目指しています。研究の過程で、食品と工学の融合が新たな食を作り出すと確信し、新たな食を開拓したいという思いから、同じく山形大学大学院で学ぶ友人ら3人で学生ベンチャー企業であるインキュベーションポートやまがた株式会社内に事業部として「Tryca GO-とりかご-」を立ち上げました。

現在、Tryca GO では、日本人の繊細な感覚、技術を詰め込むことで大人にも親しまれる新たなグミを作ろうと挑戦を続けています。

【日本人の味覚に注目】

『ねばねば』や『もちもち』など日本人には食感を表す多様な表現があることに注目しました。この繊細な感覚があれば、世界中で愛されるグミを開発できるのでは、という思いと、さらに、これまでの研究で身につけてきた知識、経験があれば新たな食感を作り出すことができるのでは、という思いから、新しいグミの開発に取り組みはじめました。

【グミの硬さを調整する技術の確立に挑戦】

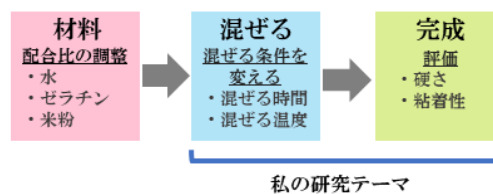
グミはお菓子というイメージが強いと思います。しかし、グミには硬さを自由自在に変えることができるという特性があります。この特性を生かすことで、味×食感が無限に広がり、食の発展に繋がると考えています。グミは、ガムのように噛み終わったら出す必要もありません。さらに、よく噛むことによって咀嚼力が鍛えられ、脳に良い刺激を与えることで人を健康へと導いてくれます。

今回グミを開発するにあたっては、グミの硬さを調整する技術を確立しようと考えています。主に、材料を混ぜる時の温度や速さによって食感をコントロールします。また、完成したグミの硬さや粘着性を物理的な数値を用いて評価します。このプロセスによって、様々な食感を作り出します。

【今後の展望】

これまでの試作では、ゼラチンと水の配合比を検討することから始まり、最近では、米粉を用いたグミの試作を進めています。今後は、さらに研究を重ね、様々な食感と、日本ならではの素材を生かした新しいグミを作りたいと考えています。研究開発に必要な装置等は、企業や研究施設からのレンタルを予定しており、現在は、資金の調達のためのクラウドファンディングに挑戦中です。

～グミの硬さを変える方法～



私の研究テーマ

様々な食感を作り出します!!
(粘り気、弾力)

お問い合わせ

Tryca GO (担当：安孫子 眞鈴)

TEL 0238-26-3155 メール marin.a@ipy.jp.net

令和元年（2019年）9月19日

職員がラグビー成年男子県代表として三度目の国体出場

【本件のポイント】

- ラグビー成年男子の山形県選抜が25年ぶりに国体出場を果たした2017年以来、3年連続で選抜メンバー入り。
- 山形大学ラグビー部OBであり、現在は監督を務めている。
- 山形県選抜では、プレーヤー兼監督として、過去2年の成績よりも上位の結果を目指す。



【概要】

本学職員で、山形大学ラグビー部監督も務める栗原利文（くりはらとしふみ／総務部総務課主任）さんが、茨城県で開催される第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」に、ラグビー成年男子の山形県選抜メンバーとして出場します。ラグビー成年男子の山形県選抜が25年ぶりに国体出場を果たした2017年以来、3年連続でメンバーに選抜されており、2017年は4位、2018年は7位という成績に貢献してきました。本学職員として勤務する傍ら、ラグビー部の監督としても後輩達の指導を行っている栗原さんは、昨年から山形県選抜でも監督を務めています。プレーヤーとしては3回目、監督としては2回目の挑戦となる今大会は、過去2年の成績よりも上位を目指すことを目標としており、ワールドカップで注目されているラグビー競技を山形県でも盛り上げていきたいと意気込んでいます。

【第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」】

ラグビーフットボール成年男子

試合日程：9月30日～10月1日

会場：ケーズデンキスタジアム水戸

【プロフィール】

栗原利文（くりはらとしふみ）。山形市出身。山形南高校在学中から本格的にラグビーをはじめ、山形大学進学後も、ラグビー部に所属。山形大学職員となった現在も、監督として後輩達の指導にあたっています。2017年「えひめ国体」、2018年「福井しあわせ元気国体」にラグビー山形県選抜の選手として出場。昨年から、プレーヤーとしてだけでなく監督も務めています。

お問い合わせ

総務部総務課広報室（菅井）

TEL 023-628-4008 メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和元年(2019年)9月19日

山形大学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 令和2年度山形大学「推薦入試学生募集要項」「私費外国人留学生入試募集要項」「社会人入試学生募集要項」について

山形大学各学部で実施する「推薦入試」及び「私費外国人留学生入試」、人文社会科学部、地域教育文化学部、工学部の3学部で実施する「社会人入試」の学生募集要項を公表します。

2. 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞～「じゅんかん育ち」を学校へ

渡部徹 教授（水環境工学）が、鶴岡市などと共同して取り組む研究プロジェクトが、令和元年度（第12回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」のイノベーション部門に選ばれました。

3. チェリスト・指揮者の鈴木秀美氏による公開講座を行います ～ 山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業 ～

平成29年度から山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会における招聘音楽家を本学に招き、学生への公開レッスンを実施しています。鈴木氏は3回目の指導です。

日 時：11月19日（火）18:30開演

会 場：文翔館議場ホール

入場料：無料

4. 農場フェスティバルを開催します ～あなたもわたしもShall we ライス？～

地域の皆さまに山形大学の農場にもっと親しんでいただくために実施している農場フェスティバルを今年度も実施します。農場で生産した新米の炊きたてご飯を無料で振る舞います。

日時：10月5日(土)10:00～15:30

場所：山形大学農学部 附属高坂農場（鶴岡市高坂字古町5-3）

入場無料・ご飯無料

5. 2019火山防災フォーラムの開催 ～火山を知り、火山とともに生きる～

火山防災フォーラムが、今年は蔵王山で開催されます。一般住民の方のフォーラム参加は無料です。

日時：10月17日(木)13:15～17:00

場所：蔵王町ふるさと文化会館 ございんホール（宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦5）

6. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

11月は「健康長寿へのみちしるべ」をテーマに、山形県立保健医療大学名誉教授の内田勝雄氏により、4回にわたって講演いただきます。

7. 次期学長候補者決定に関する記者会見を開催します

9月25日(水)に開催される学長選考会議の終了後（19:30～）に、記者会見を予定しています。

※裏面へ続く

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎化学系学協会東北大会を山形大学で開催

～最先端の化学に触れる2日間、高校生も参加可能～

開催日：9月21日(土)～22日(日)

会場：小白川キャンパス

◎高校生対象『生物の多様性を考える－土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用－』

日時：9月28日(土) 9:00～15:15

会場：山形大学鶴岡キャンパス 農学部3号館401講義室

対象：高校生／定員20名

申込み：9月13日(金)まで ※定員になり次第終了

◎“日本物理学会 市民科学講演会”

～どこまでわかっているの？スーパーサイエンティストに聞く最新の宇宙の姿～

小白川キャンパスで開催される日本物理学会（秋季大会）にあわせて開催される一般向け講演会

日時：9月21日(土) 13:00～15:40

会場：山形テルサ テルサホール

対象：一般市民、中学生、高校生、大学生

令和元年（2019年）9月19日

令和2年度山形大学 「推薦入試学生募集要項」「私費外国人留学生入試募集要項」 「社会人入試学生募集要項」について

【本件のポイント】

- 山形大学各学部で実施する「推薦入試」及び「私費外国人留学生入試」、人文社会科学部、地域教育文化学部、工学部の3学部で実施する「社会人入試」の学生募集要項を公表します。
- 9月19日（木）に山形大学ホームページで公表するとともに、「推薦入試学生募集要項」及び「私費外国人留学生入試募集要項」は冊子の配付を開始します。冊子は山形大学ホームページから請求いただくか、山形大学小白川キャンパス内のインフォメーションセンターあるいは各学部入試担当窓口でも配付します。「社会人入試学生募集要項」は、山形大学ホームページからダウンロードしてください。
- 「推薦入試学生募集要項」は、9月19日（木）付けで、山形県内高等学校等に発送します。



【概要】

山形大学は、9月19日(木)に「推薦入試学生募集要項」「私費外国人留学生入試募集要項」「社会人入試学生募集要項」を公表します。これらの要項は、9月19日から山形大学ホームページでご覧いただくことが可能です。

推薦入試では、大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）と、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）の2種類を実施します。

私費外国人留学生入試では、「2019年度日本留学試験」の成績、本学の個別学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して選抜します。

社会人入試では、大学入試センター試験を課さずに、出願書類及び各学部が実施する面接等の結果を総合して選抜します。

【入試の概要・変更点等】

《推薦入試》

大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）と、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）の2種類を実施します。それぞれ実施する学部は「選抜日程」のとおりです。

また、昨年度入試からの主な変更点は以下のとおりです。

・募集人員の変更

地域教育文化学部

・推薦入試Ⅰ 10人（昨年度15人〔5人減〕）

理学部

・推薦入試Ⅰ 20人（昨年度15人〔5人増〕）

医学部医学科

・推薦入試Ⅱ 25人（昨年度30人〔5人減〕）

工学部昼間コース建築・デザイン学科

・推薦入試Ⅰ 4人（昨年度5人〔1人減〕）

■選抜日程

推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない推薦入試)	出願期間	人文社会科学部 地域教育文化学部	令和元年11月1日(金)～11月6日(水)
	選抜期日	理学部 工学部昼間コース	令和元年11月16日(土)～11月21日(木) の間に実施
	合格発表	工学部フレックスコース 農学部	令和元年11月29日(金)
推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す推薦入試)	出願期間	人文社会科学部	令和2年1月20日(月)～1月23日(木)
		医学部医学科	令和元年11月1日(金)～11月6日(水)
		医学部看護学科	令和2年1月20日(月)～1月23日(木)
	選抜期日	人文社会科学部	令和2年2月1日(土) (グローバル・スタディーズコースは除く)
		医学部医学科	令和元年11月20日(水)
		医学部看護学科	令和2年2月1日(土)
	合格発表		令和2年2月10日(月)

《私費外国人留学生入試》

入学者の選抜は、「2019年度日本留学試験」の成績(出願時に志願者本人が6月実施分又は11月実施分のいずれかを指定します。)、本学の個別学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行います。

募集人員は、人文社会科学部人文社会科学科人間文化コースは5人、工学部昼間コースは16人、その他の学部・コース等はそれぞれ若干人です(人文社会科学部人文社会科学科グローバル・スタディーズコース及び工学部フレックスコースは募集を行いません。)。

また、昨年度入試からの主な変更点は以下のとおりです。

地域教育文化学部

- ・出願要件について、「日本留学試験(6月又は11月実施)において、各コースが指定する全ての利用科目を受験し、それぞれの利用科目の得点が平均点以上であること」から「日本留学試験(6月又は11月実施)において、各コースが指定する全ての利用科目を受験していること」に変更しました。

工学部昼間コース

- ・募集人員の変更
16人(定員化)(昨年度 若干人)
- ・「志望学科・コース」で選抜を行います。

■選抜日程

私費外国人 留学生入試	出願期間	工学部昼間コース	令和元年12月2日(月)～12月5日(木)
		人文社会科学部 理学部 農学部	令和元年1月6日(月)～1月9日(木)
		地域教育文化学部 医学部	令和元年1月20日(月)～1月23日(木)
	選抜期日	人文社会科学部	令和2年1月25日(土)
		地域教育文化学部	令和2年2月25日(火)
		医学部	令和2年2月26日(水)
		理学部 工学部昼間コース 農学部	個別学力検査等は課しません
	合格発表	工学部昼間コース	令和2年1月17日(金)
		人文社会科学部 農学部	令和2年2月4日(火)
		理学部	令和2年2月10日(月)
		地域教育文化学部 医学部	令和2年3月6日(金)

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

《社会人入試》

社会人入試では、大学入試センター試験を課さずに、出願書類及び各学部が実施する面接等の結果を総合して選抜します。

募集人員は、それぞれ若干人です。

■選抜日程

社会人入試	出願期間	人文社会科学部 (総合法律/地域公共政策 /経済・マネジメントコ ース)	令和元年10月7日(月)～10月9日(水)
		地域教育文化学部	令和元年11月1日(金)～11月6日(水)
		工学部フレックスコース	令和元年10月16日(水)～10月18日(金)
	選抜期日	人文社会科学部 (総合法律/地域公共政策 /経済・マネジメントコ ース)	令和元年11月2日(土)
		地域教育文化学部	令和元年11月20日(水)
		工学部フレックスコース	令和元年11月16日(土)
	合格発表		令和元年11月29日(金)

【入試実施教科・科目等について】

それぞれの入試において、実施教科・科目等は「令和2年度山形大学入学選抜要項」で公表している内容から変更ありません。

お問合せ先
山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
TEL 023-628-4141

令和元年（2019年）9月19日

国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞 ～「じゅんかん育ち」を学校へ～

【本件のポイント】

- 山形大学、鶴岡市、株式会社日水コン、鶴岡市農業協同組合、水ingエンジニアリング株式会社、株式会社東北サイエンスとの共同研究プロジェクトが国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞。
- 「循環のみち下水道賞」は平成20年度に創設され、本県の受賞は初。
- 明治22年に山形県鶴岡町（現鶴岡市）が私立忠愛小学校で貧困児童を対象に昼食を与えたのが、日本の給食のはじまりと言われている。
- 暖房用の燃料を必要としないハウス栽培によって、冬場でも低コストで新鮮な野菜を給食用食材として供給が可能に。



【概要】

このたび、山形大学学術研究院 渡部徹教授（水環境工学/農学部担当）が、鶴岡市、株式会社日水コン、鶴岡市農業協同組合、水ingエンジニアリング株式会社および株式会社東北サイエンスと共同して取り組む研究プロジェクト「『じゅんかん育ち』を学校へ」が、令和元年度（第12回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」のイノベーション部門で受賞しました。

国土交通省では、健全な水循環、資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」に基づく優れた取り組みを国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」として表彰しています。

今回受賞した「じゅんかん育ち」を学校へは、下水道資源（消化ガス発電の余熱）を使いビニールハウスを加温することで、低コストで野菜を栽培することができるほか、そこで作った野菜を学校給食に提供する取り組みが高く評価されました。

受賞団体の功績を称えるための表彰式が「下水道の日」である9月10日（火）に行われ、石井国土交通大臣から各団体に表彰状が授与されました。

【背景】

鶴岡浄化センターでは、下水処理の過程で発生する余剰汚泥からバイオバスを生産し、それを燃料としたカーボンニュートラルな発電を行っている。発電プロセスで発生する熱は、バイオガスを生産する消化タンクの加温に使っているが、そこで余った熱も無駄にすることなく、冬季の農業用ハウスの加温に使っている。2017年に浄化センター内に農業用ハウス1棟を建設し、最初の冬には山菜（青こごみ）を栽培しながら、厳冬期でもハウス内を高い温度に保つことができることを確認した。翌年の冬には、この取り組みの成果を社会に還元することを目的に、学校給食への食材としてのハウレンソウの栽培を行った。そして、2019年3月7日には、このハウレンソウを実際に学校給食に提供することに成功した。下水道資源の農業利用は近年全国各地に広がっている（鶴岡市がそのリーダー的存在）が、その生産物を学校給食に使った前例はない。下水道は公共事業であり、その資源を使って栽培した食材を住民に還元することは合理的であり、他の自治体の参考になる斬新なアイデアである。下水道や学校給食を管轄する鶴岡市の他、下水道関連の民間企業、作物栽培の専門家であるJA鶴岡、そして調査研究を行う山形大学が参加し、地域の産官学連携での取り組みである点も今回の授賞につながった。

【今後の展望】

鶴岡浄化センターでは今後も学校給食への食材提供を行う。より多くの食材を提供できるように、本年度中に農業用ハウスをもう1棟建設する予定。渡部教授らの飼料用米栽培の研究も含めて、環境保全を目的とする下水処理場に、地域の食や農業に貢献する資源循環の拠点としての新しい役割を与えることが大目標。農学部が推進するスマートテロワール構想との連携も視野に、鶴岡での下水道資源の農業利用の取り組みを盛り上げていきたい。

お問い合わせ

学術研究院教授（水環境工学） 渡部 徹

TEL 0235-28-2907 メール to-ru@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）9月19日

チェリスト・指揮者の鈴木秀美氏による公開講座を行います ～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

【本件のポイント】

- チェリスト・指揮者として活躍する鈴木秀美氏による公開講座。
- 平成29(2017)年度から実施している山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業で、今回で7回目。（鈴木氏は昨年に続き3回目）
- 学生にとっては、世界で活躍するプロの音楽家から講座を受けられる絶好の機会。



【概要】

地域教育文化学部では、平成 29 年度から山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会における招聘音楽家を本学に招き、地域教育文化学部音楽芸術コースおよび文化創生コースの学生への公開講座を実施しています。

第 7 回目となる今回は、チェリスト・指揮者として活躍する鈴木秀美氏を講師としてお迎えして 11 月 19 日（火）に実施します。古典派の音楽に深く精通する、同氏による J.S.バッハ作曲「無伴奏チェロ組曲」を中心にレクチャーコンサートを行います。学生たちにとっては、世界で活躍するプロの音楽家から講座を受けられる絶好の機会です。地域の皆さま方とこの貴重な時間を共有するために講座を公開いたします。

【開催情報】

日 時 令和元年 11 月 19 日（火） 18:30 開演
会 場 文翔館議場ホール
入場料 無料
プログラム J.S.バッハ作曲「無伴奏チェロ組曲」より チェロ：鈴木秀美

【講師紹介】

チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、教育と活動は多岐にわたり、サントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。2001 年《オーケストラ・リベラ・クラシカ》を創立。国内外の交響楽団に指揮者及びソリストとして客演している。1995 年に日本人としては初めての、オリジナル楽器による「バッハ／無伴奏チェロ組曲全曲」を録音し、同年度文化庁芸術作品賞を受賞など録音も多数に上る。著書に「『古楽器』よ、さらば！」（音楽之友社）、「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」（東京書籍）、「通奏低音弾きの言葉では」（アルテスパブリッシング）。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師、山形交響楽団首席客演指揮者。

<参考>過去の公開レッスン開催日／講師

平成 29 年 5 月 11 日／チェリスト・指揮者 鈴木秀美氏
平成 29 年 9 月 1 日／オペラ指揮者 阪 哲朗氏
平成 30 年 6 月 8 日／ホルン奏者・指揮者 ラデク・バボラーク氏
平成 30 年 8 月 30 日／オペラ指揮者 阪 哲朗氏
平成 30 年 11 月 13 日／チェリスト・指揮者 鈴木秀美氏
令和元 年 7 月 21 日／オペラ指揮者 阪 哲朗氏

お問い合わせ

学術研究院教授（地域教育文化学部主担当） 渡辺 修身
TEL 023-628-4336 メール sammy@e.yamagata-u.ac.jp

2019 10.5 SAT

10:00-15:30

DOORS OPEN 9:30

あなたもわたしも
Shall we ライス?

山形大学 農場 フェスティバル

@山形大学農学部高坂農場

入場
無料

ご飯
無料



あそぶ

- ・農機展示!
- ・ヤギの言語とは...「メエメエメエ」
- ・荷台に揺られて♪農場見学ツアー!
- ・スタンブラリーで栗のつかみ取り!
- ・薪ボイラーで足湯 in 農場(ベレットマン鶴岡)
- ・出張!森の学校!!
- ・レッツ ツリーイング!!
- ・究極の新米!? 脱穀したてのご飯を食べよう!
- ・伝説のお米「龍の尾」を食べよう!!
- ・お米じゃないよ! 樹氷家族じゅっきーくん&たいきくん!
- ・鶴岡市エコキャラ みどりちゃんと遊ぼう!
- ・JICA ブース
- ・ジャグリングブース(パルーンアート)
- ・いろんな楽器を触ってみよう! 吹奏楽器編
- ・いろんな楽器を触ってみよう! 軽音楽器編
- ・未来はきっとこうなる!?
- ・~新型農業ロボット大集合!!~
- ・ダンスバトル 鶴岡王決定戦(山形大学校友会支援事業)

and more...

ステージ

- ・くじらぐも日和
- ・農学部 jazz 研究会
- ・うたごえサークルとまり火
- ・ヒバリズ
- ・coward
- ・ジャグリングパフォーマンス
- ・鶴岡市エコキャラ みどりちゃんと学ぼう!
- ・クラウド
- ・農場フェスティバルズ
- ・花笠踊り(四面楚歌)
- ・農学部吹奏楽団
- ・農機 SHOW!
- ・Stage Artist:

工房ぐるぐどと愉快な仲間たち

and more...



たべる

○新米ご飯無料! はえぬき&里のゆき!

○ご飯のお供、農産物、加工品販売

- ・野菜でんぶ(やさいろ)
- ・やまがた地鶏の串焼き(三宝串、鳥園串、ねぎま、つくね、鶏皮、手羽、白もつ、レバー、豚バラ串焼き、玉こんにゃく)(藤の里農場)
- ・揚げビザ、フライドポテト(叶野農場)
- ・アイスクリーム、肉巻ドッグ、鶏スモーク、ソーセージステーキ、タピオカドリンク(月山アイスクリーム)
- ・ぶどう、なし(船井農場)
- ・きくらげ佃煮、干しきくらげ、生きくらげ(鈴木屋本店)
- ・舟形マッシュルームのピクルス、庄内フルーツピクルス(beni.)
- ・鮭川なめこ、きのこ(くまちゃんなめこ)
- ・スコーン、米粉クッキー、柿の茶葉、コーヒー(ナリワイアライアンス)
- ・トマト、長ねぎなどの農産物(庄内アグリユース)
- ・ミニトマト3種&農業経営者育成学校 SEADS 説明(ヤマガタデザインアグリ株式会社)
- ・新米、りんご、ぐり、さといも、ジュース、ジャム、スマテロ味噌(山太農場)

and more...



まなぶ



月山高原における
「庄内スマート・テロワール」
の取組み紹介
講師 VEGEPALETTE
高田 平庄 先生



田んぼの仕組み
講師 山形大学准教授
佐々木 由佳 先生

農学部 乙、フェス会場	
10:30	11:30
12:00	13:00
13:30	14:30

当日は、
シャトルバスを
運行します。
左記、時刻表を
ご覧ください!



金峯山
RISING

@山形大学
高坂農場
17:00-21:00

- ・Dachambo
- ・MANAZASHI(酒田)
- ・Magic pills(東北公益大)
- ・Stain hung over(鶴岡高専)
- ・noricot3(山太農場)
- ・Vital Club(酒田)
- ・金峯山・黄金地区を知ってワクワクしよう! ブース

山形大学農場フェスティバル @山形大学農学部高坂農場

2019 10.5 SAT
10:00-15:30
DOORS OPEN 9:30

山形大学農場フェスティバルとは？

「山形の農場とか演習林はどんなところ？」とよく聞かれます。農場ではうまい米を作っています。うまいトマト、ブルーベリー、えだまめ、リンゴなどたくさん作っています。牛、ヤギがいます。演習林は森林があります。川があります。自慢できるぐらい雪が降ります。これらのフィールドを使い教員は講義、実習、実験を行い、それを世界に発表しています。学生はそれらを通して日々成長しています。そう、こんなところなんです！と少しでも皆さんに伝えたい！という場が「山形大学農場フェスティバル」です！農場・演習林のスタッフが、大学や学生や地域の方々の力を借りて作っているフェスです。子供からお年寄りまで幅広い方が混ざり合って楽しんでいただければと願っています。今年のテーマは、「あなたも私も Shall we ライス？」です。みんなで踊り出したいような気持ちで会場をまわってください！今回初めて作られるダンスブース。一体どのような炊き上がりを魅せるのでしょうか！？ぜひ、遊びに来てください！新米炊き立てご飯は無料です！収穫の喜びを分かち合いましょ！（おかずは有料）どんぶり片手に Shall we ライス！？

出演アーティスト

10:20-15:30

- ・くじらぐも日和
- ・農学部 jazz 研究会
- ・うたごえサークルとまり火
- ・ヒバリズ
- ・coward
- ・ジャグリングパフォーマンス
- ・鶴岡市エコキャタ みどりちゃんと学ぼう！
- ・クラウズ
- ・農場フェスティバルズ
- ・花笠踊り（四面楚歌）
- ・農学部吹奏楽団
- ・農機 SHOW!
- ・Stage Artist:
- 工房けるぐどと愉快な仲間たち

ステージ



お子さまが パパ、ママと楽しく遊べる コーナー多数！

10:00-15:30

- ・農場展示！
- ・ヤギの言語とは…「メエメエメエ」
- ・荷台に揺られて♪農場見学ツアー！
- ・スタンブラリーで栗のつかみ取り！
- ・薪ボイラーで足湯 in 農場（ベレットマン鶴岡）
- ・出張！森の学校！！
- ・レッツ ツリーイング！！
- ・究極の新米!? 脱穀したてのご飯を食べよう！
- ・伝説のお米「亀の尾」を食べよう！！
- ・樹氷家族じゅっきーくん&たいきくん！
- ・鶴岡市エコキャタ みどりちゃんと遊ぼう！
- ・JICA ブース
- ・ジャグリングブース（パルーンアート）
- ・いろんな楽器を触ってみよう！吹奏楽器編
- ・いろんな楽器を触ってみよう！軽音楽器編
- ・未来はきっとこうなる！？
- ～新型農業ロボット大集合！～
- ・ダンスバトル 鶴岡王決定戦（山形大学校友会支援事業）

あそぶ

食品・農産物販売

10:00-15:30

○新米ご飯無料！！

○ご飯のお供の販売

・野菜てんぷら（やさしろ）・やまがた地鶏の串焼き（三宝串、鳥図串、ねぎま、つくね、鶏皮、手羽、白もつ、レバー、豚バラ串焼き、玉こんにゃく）（藤の里農場）・揚げビザ、フライドポテト（叶野農場）・アイスクリーム、肉巻ドッグ、鴨スモーク、ソーセージステーキ、タピオカドリンク（月山アイスクリーム）

○農産物、加工品販売

・ぶどう、なし（鶴井農園）・きくらげ佃煮、干しきくらげ、生きくらげ（鈴木屋本店）・舟形マッシュルームのピクルス、庄内のフルーツピクルス（beni.）・鮭川なめこ、きのこ（くまちゃんなめこ）・スコーン、米粉クッキー、柿の茶葉、コーヒー（ナリワイアライアンス）・トマト、長ねぎなどの農産物（庄内アグリユース）・ミニトマト3種&農業経営者育成学校 SEADS 説明（ヤマガタデザインアグリ株式会社）・新米、りんご、くり、さといも、ジュース、ジャム、スマテロ味噌（山農農場）

たべる

特別講演会

月山高原における『庄内スマート・テロワール』の取組み紹介

講師：VEGEPALETTE 高田 庄平先生

ベジパレットは、農業で人々の人生をより豊かにできると信じています。第一に自分自身が楽しめる農業、さらに周りの人たちが一緒に笑顔になれる農業を目指しています。家族、友だち、自分の大事な人達と、一緒に笑顔になれる時間を過ごすための、場所やモノをお届けします。講演では、ベジパレットが2018年から鶴岡市羽黒地域の月山高原にて山形大学や野菜農場野さんと一緒に取り組んでいる『庄内スマート・テロワール』の構築に向けた畑作物生産やトモロコシ園場を活用したイベントについて紹介します。

田んぼの仕組み

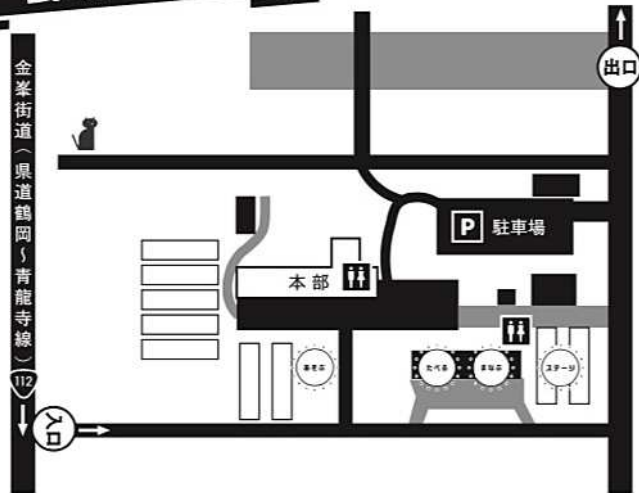
講師：山形大学准教授 佐々木 由佳先生

庄内平野の約70%は田んぼです。田んぼは水をためて稲を育てる場所です。しかしなぜ、田んぼは水をためることができるのでしょうか？水をためる田んぼと水をためない畑ではどんな違いがあるのでしょうか？田んぼに水をためるための仕組みについてお話しします。

注意事項

- ※給水所は救護所に設けております。飲み物は清涼飲料水のみ販売いたします。
- ※畜舎には絶対入らないで下さい。牛は外から見てください。
- ※駐車場には限りがございます。
- ※会場内・外において、他のお客様、並びに近隣の方々に迷惑がからないようご協力願います。
- ※会場内・外で発生した事故、盗難等は主催者・会場・出演者は一切責任を負いません。
- ※飲酒運転は絶対におやめ下さい。
- ※会場内は禁煙となっております。
- ※都合により内容の一部を変更することがございますのでご了承下さい。
- ※少雨の場合は予定通り開催いたします。多雨の場合は建物内で縮小開催といたします。
- 雨具の準備をお願いいたします。

会場 MAP



農場フェス終了後に地域交流型音楽イベントを創出！ 黄金地域の魅力を知る × 若者 × 交流 × 音楽！

- ・Dachambo
- ・MANAZASHI(酒田)
- ・Magic pills(東北公益大)
- ・Stain hung over(鶴岡高専)
- ・noricot3(山形大)
- ・Vital Club(酒田)
- ・金峯山・黄金地区を知ってワクワクしよう！ブース

主催：山形大学農学部重音学部 協力：金峯山観光協会 連絡先：0235-28-2880

令和元年度鶴岡まち活振事業

金峯山
RISING
@山形大学
高坂農場
17:00-21:00

山形大学農場フェスティバルに関するお問い合わせ 0235-24-2278 nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学農学部高坂農場 共催：山形大学農学部 後援：山形大学農学部地域産学官連携協議会、山形大学校友会

令和元年（2019年）9月19日

2019火山防災フォーラムの開催について ～火山を知り、火山とともに生きる～

【本件のポイント】

- 火山防災フォーラムが、今年は蔵王山で開催されます。
- 火山防災フォーラムは、1991年雲仙普賢岳の噴火をきっかけに開始され、主な火山がある地域で毎年開催されています。
- 住民の方々へ、火山防災の意識啓発に大きな効果が上がっています。



【概要】

2019 火山防災フォーラムでは、蔵王山においてふたたび火山活動が活発化した場合、「安全」を第一義として地域・関係行政機関が一体となって迅速かつ的確な行動がとれる地域づくりを目的とし、活火山と上手に付き合う方策のひとつとして「火山の恵み」やジオパークにも焦点を当て、今後の安全確保に向けた取組の方向性などについて意見交換を行います。

本フォーラムでは地元の小学生による蔵王山に関する研究発表も行われます。本学の教員がアドバイザー、コメンテーターを務めます。

【背景】

火山フォーラムは、1991 年雲仙普賢岳の噴火をきっかけに開始され、主な火山がある地域で毎年開催されており、今年は、近年火山噴火の前兆的現象が観測されている蔵王山で開催されます。

【研究手法・研究成果】

雲仙普賢岳が噴火を起こした 1991 年には、火山の噴火で発生する災害がどのようなものであるか、住民に情報が浸透しておらず、地域としての現場対応が大変な困難を強いられました。これをきっかけとして火山の噴火に関する防災対策について特に近隣の住民の方々に理解と備えをしていただく啓蒙活動が開始されました。当初は長期的に行うかどうかは未定でしたが、このフォーラムの有用性が認知され 30 年近く続けられています。火山との共生が必要な日本においてはこのような継続的な活動は必須です。

【今後の展望】

毎年、日本各地の代表的な火山で開催される火山フォーラムが蔵王山で行われることは、蔵王山が日本でも有数の火山であること、一方で噴火が発生した場合は被害が発生することを社会に認識してもらえる点で意義が大きいと考えられます。

※用語解説

1. 蔵王山：東北を代表する活火山の一つ。現在の火口である御釜は西暦 1200 頃に火口として形成され、その後何回も噴火を起こしている。最新の噴火は 1985 年である。今後も噴火を起こす可能性は高い。なお、御釜の北東方向約 1.5 km 付近には噴気を起こしている丸山沢地熱噴気地帯があり、1940 年 4 月 16 日にここからごく小規模の噴火が発生した可能性がある。

お問い合わせ

学術研究院 教授 伴雅雄（理学部担当）

TEL 023-628-4642 メール ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

2019 火山砂防フォーラム

火山を知り、火山とともに生きる ～活火山蔵王山との新しいつきあい方～

蔵王山は、宮城県と山形県の県境に位置し、その独特の地形によって様々な表情を見せ、地域に豊かな恵みをもたらす一方で、有史以降40回ほどの噴火記録が残っている活火山です。

最近では、平成25（2013）年以降、時々火山活動の高まりがみられ、一時的に火口周辺警報が発表されるなど、噴火への警戒を怠ることのできない状況が続いています。

本フォーラムでは、蔵王山においてふたたび火山活動が活発化した場合、「安全」を第一義として地域・関係行政機関が一体となって迅速かつ的確な行動がとれる地域づくりを目的とし、活火山と上手につき合う方策のひとつとして「火山の恵み」や「ジオパーク」にも焦点をあて、今後の安全確保に向けた取組の方向性などについて意見交換を行います。



フォーラム

日時 2019年 **10月17日** 木 13:15～17:00

場所 蔵王町ふるさと文化会館 ございんホール

意見交換会／アクティブリゾート宮城蔵王 18:00～

現地研修会

日時 2019年 **10月18日** 金

場所 蔵王山周辺（宮城半日コース 8:30～13:50）
（宮城・山形終日コース 8:30～15:25）

一般住民の方の
フォーラム
参加無料

火山防災に関わる行政職員・民間企業の方は、
ホームページから**必ずご登録**ください。

2019火山砂防フォーラム



※一般住民の方は直接会場にお越しください。

参加費

- フォーラム ￥3,000
- 意見交換会 ￥6,000
- 現地研修会 半日コース ￥5,000 終日コース ￥5,500

申込登録受付期間

2019年 8月5日（月）～10月4日（金）

CPD講習会（申請中）

詳しくはホームページで
ご確認ください。

主催／火山砂防フォーラム委員会（委員長＝蔵王町長・村上 英人）

共催／蔵王山火山防災協議会

後援（予定）／国土交通省、気象庁、宮城県、山形県

協賛／（一社）全国治水砂防協会、（公社）砂防学会、（一財）砂防・地すべり技術センター、（一財）砂防フロンティア整備推進機構、（一社）国際砂防協会、（NPO）土砂災害防止広報センター（NPO）防災情報研究所

お問い合わせ ▶

2019火山砂防フォーラム幹事会事務局（蔵王町建設課）

TEL 0224-33-2214 e-mail : kensetsu@town.zao.lg.jp

2019 火山砂防フォーラム

プログラム

第1日目

10月17日(木) フォーラム

会場／蔵王町ふるさと文化会館ございんホール

※出演者やプログラムの内容は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

13:15

開会式典

主催挨拶：蔵王町長(火山砂防フォーラム委員会委員長)

来賓挨拶：宮城県知事、国土交通省砂防部長

13:40

研究発表 「ふるさとの山 蔵王山と私たちの暮らし」

蔵王町内の2つの小学校の児童が、噴火のメカニズムやリスク、リスク軽減に向けた行政の取り組みなどを学んだ上で、自分たちでできる取り組みを実践し、その成果について発表します。

発表者 蔵王町立遠刈田小学校5年生

蔵王町立永野小学校5年生

コメンテーター 伴 雅雄 (山形大学理学部教授)



伴 雅雄
山形大学理学部教授

14:40

休憩

ポスターセッション『全国の火山防災の取組事例』

15:10

パネルディスカッション「活火山 蔵王山との新しいつきあい方」

蔵王山周辺地域における火山防災意識の継続に向けて、「蔵王山の恵み」を活かした新しいつきあい方を主な論点として、今後のあり方などに関する意見交換を行います。

コーディネーター



池谷 浩
内閣府火山防災エキスパート

パネリスト



佐藤久美子
旅館 源兵衛 女将



大沼 邦充
上山市公式クアールガイド



井良沢道也
岩手大学農学部教授



東海林清広
宮城県危機管理監



村上 英人
蔵王町長

コメンテーター



今井 一之
国土交通省砂防部長

ゲスト(客席出演)——石川 徹(霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局)

16:50

閉会挨拶

17:00

閉会

18:00

意見交換会

アクティブリゾーツ宮城蔵王

第2日目

10月18日(金) 現地研修会

宮城半日コース

8:30 遠刈田温泉(アクティブリゾーツ宮城蔵王)出発 ▶ 駒草平展望台 ▶ 蔵王 御釜(五色沼)
▶ みやぎ蔵王 こけし館 ▶ 松川流域砂防施設 ▶ 13:00 仙台空港 ▶ 13:50 仙台駅

宮城・山形終日
コース

8:30 遠刈田温泉(アクティブリゾーツ宮城蔵王)出発 ▶ 松川流域砂防施設 ▶ みやぎ蔵王 こけし館
▶ 駒草平展望台 ▶ 蔵王 御釜(五色沼) ▶ (昼食)蔵王山頂レストハウス ▶ 蔵王川流域火山砂防施設
▶ 山形県観光物産館 ▶ 14:40 JR山形駅 ▶ 15:25 山形空港



蔵王 御釜



駒草平展望台



松川流域砂防施設



蔵王川火山砂防施設

令和元年(2019年)

やまがた夜話

「健康長寿へのみちしるべ」

～細胞が教えてくれる健康長寿～

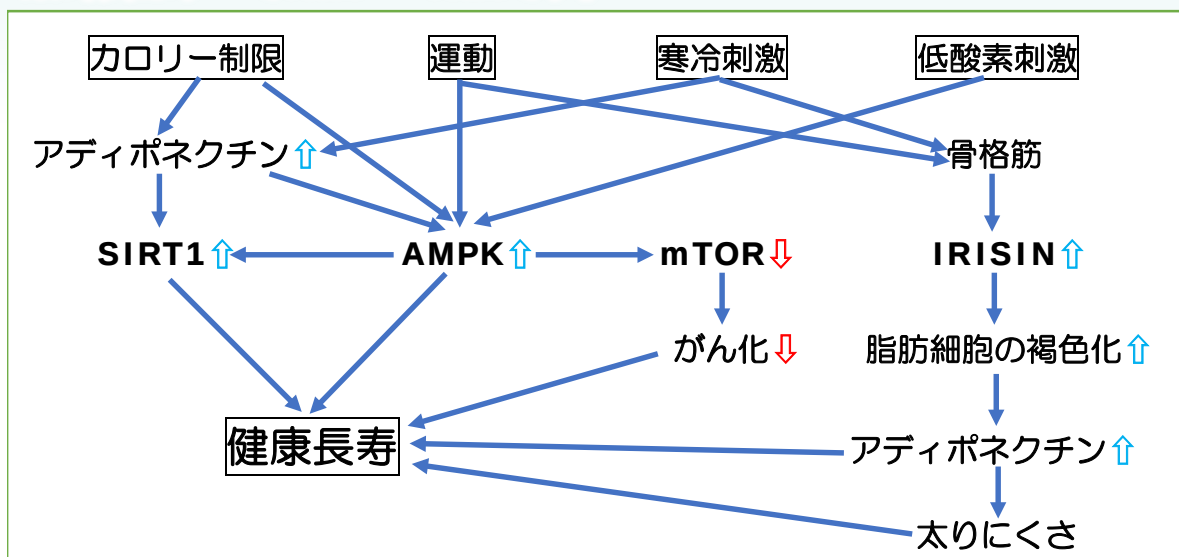
11月 6日(水) 脂肪細胞からのメッセージ

11月13日(水) 筋肉細胞からのメッセージ

11月20日(水) キーワードはAMPK

11月27日(水) アルツハイマー病は脳の糖尿病？

※時間はすべて18:30 ～ 19:30です。



講師:内田 勝雄 氏(山形県立保健医療大学名誉教授)

会場

ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス

山形駅東口より徒歩1分

対象

高校生・学生・一般市民

申し込み

事前に裏面の参加申込書を
Fax, 郵送するか、必要事項
を記入したメールでお申し込
みください。

定員:50名

入場無料

主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み
お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

Tel:023-628-4842 Fax:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 ☐ 令和元年11月6日(水) 講師: 内田 勝雄 氏 ☐ 令和元年11月13日(水) 講師: 内田 勝雄 氏 ☐ 令和元年11月20日(水) 講師: 内田 勝雄 氏 ☐ 令和元年11月27日(水) 講師: 内田 勝雄 氏
住 所	〒
氏 名	
連絡先	TEL E-mail
所 属	必須ではありません

・受講申込者が定員を超えた場合には、入場をお断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

次期学長候補者決定に関する記者会見を開催します

2019.9.19

❖ 日 時

令和元年 9 月 2 5 日（水） 1 9 : 3 0 （予定）

※ 審議状況により，開始時間が遅れる場合があります。

❖ 場 所

法人本部 4 階第二会議室

❖ 出席者

学長選考会議議長 相 澤 益 男（国立研究開発法人科学技術振興機構 顧問）
学長選考会議議長代理 中 野 光 雄（富士紡ホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長）
次期学長候補者

❖ これまでの経緯

学長選考会議では、学長選考基準に基づき選考を行い、4つのキャンパスにおける「所信を聴く会」の開催しました。

9 月 25 日 13 時開催の令和元年度第 4 回学長選考会議において、第一次学長候補適任者 3 名への最終ヒアリングを実施し、これらの点を総合的に勘案して慎重に審議し、本会議が定めた「求められる学長像」に示す資質・能力を有する最適任者として学長候補者を選考します。

【本件担当】

山形大学総務部

総務課長 玉田 邦彦

TEL:023-628-4003